



議会だより



石動小学校の入学式

平成25年4月5日、改築が進められていた石動小学校管理特別教室棟が完成して初めての入学式が行われました。新1年生73名が、新しいランドセルに新しい制服という可愛らしい姿で元気に登校しました。

3月定例会の概要

3月4日から25日までの22日間を会期として開催しました。

初日は、平成25年度小矢部市一般会計予算など議案32件、最終日には、議案1件が追加上程され、計33議案を原案のとおり可決しました。

また、専決処分事項1件の承認及び議員派遣の可決を行いました。

目次

概 要	1
審議経過	2
予算特別委員会の設置	
平成25年度当初予算	
請願・陳情の処理状況	
可決議案	3
代表・一般質問	4
会務報告	8
議長交際費	
傍聴のお知らせ	
6月定例会の日程	
委員会報告	9
編集後記	10

3月定例会の
審議経過

4日	本会議(提案理由説明)
5日	全員協議会
6日	全員協議会
7日	議案調査日
8日	議案調査日
11日	議会運営委員会
13日	本会議(代表一般質問)
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
18日	民生文教常任委員会
19日	産業建設常任委員会
21日	総務常任委員会
22日	まちづくり特別委員会
	防災・環境対策特別委員会
	委員長会議
25日	議会運営委員会
	全員協議会
	本会議(質疑・討論・表決他)

予算特別委員会の設置

平成25年度当初予算案を審議するため、14名で組織し設置されました。

3月13日から15日までの3日間にわたり活発な議論が繰り広げられ、採決の結果、全7議案が原案のとおり可決されました。

委員長	福島 正力
副委員長	島田 一朗
委員	義浦 英昭
〃	吉田 康弘
〃	藤本 雅明
〃	白井 中
〃	石田 義弘
〃	嶋田 幸恵
〃	沼田 信良
〃	中西 正史
〃	多田 勲
〃	尾山 喜次
〃	砂田 喜昭
〃	宮西 佐作

平成 25 年度予算可決

平成 25 年度予算については、一般会計が2年続けて 130 億円を超える大型予算となりました。また、平成 24 年度3月補正予算を合わせ、いわゆる「13 か月予算」として編成され、150 億円を超える超大型の予算となりました。

現下の景気動向は、いまだ不透明感が強い状況ではありますが、「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現のため、各種施策の速やかな進展により、“小矢部ルネサンス” 新たな飛躍に向けた「おやべの元気・安全創造予算」として編成されました。

		前年度比
一 般 会 計	1 3 4 億 9, 2 8 0 万円	3. 1 %
公共用地先行取得事業特別会計	1 億 5, 2 2 0 万円	0. 4 %
国民健康保険事業特別会計	3 1 億 7, 5 3 0 万円	3. 2 %
後期高齢者医療事業特別会計	8 億 1, 6 0 0 万円	4. 0 %
下水道事業特別会計	2 1 億 2, 0 7 0 万円	△ 2. 7 %
農業集落排水事業特別会計	1 億 7, 0 2 0 万円	2. 7 %
水道事業会計	1 0 億 9, 2 9 5 万円	3. 0 %
合 計	2 1 0 億 2, 0 1 5 万円	2. 5 %

受理番号	件 名 (請 願 ・ 陳 情 者)	審査結果
請願第 1 号	震災瓦礫焼却灰受け入れの必要性に関する請願書 (小矢部のみらいを守る会 代表 中村友香)	不採択
請願第 2 号	震災瓦礫焼却灰受け入れについての住民説明会に関する請願書 (小矢部のみらいを守る会 代表 中村友香)	不採択
陳情第 1 号	生活保護基準の大幅引き下げと制度「改定」計画の中止・撤回を求める陳情書 (生活・福祉ネットワークとやま準備会 共同代表 岩場 達夫ほか1名)	不採択
陳情第 2 号	震災がれきの焼却灰を含む焼却灰を受け入れる際の住民説明会に関する陳情書 (関東避難者の会 代表 焼田美智世)	不採択
陳情第 3 号	震災がれきの焼却灰に含まれる有害物質の検査に関する陳情書 (関東避難者の会 代表 焼田美智世)	不採択

次のとおり、請願・陳情の処理を行いました。

請願・陳情の処理状況

3月定例会で可決された議案**(平成25年度当初予算)**

- 議案第1号 平成25年度小矢部市一般会計予算
議案第2号 平成25年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計予算
議案第3号 平成25年度小矢部市国民健康保険事業特別会計予算
議案第4号 平成25年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第5号 平成25年度小矢部市下水道事業特別会計予算
議案第6号 平成25年度小矢部市農業集落排水事業特別会計予算
議案第7号 平成25年度小矢部市水道事業会計予算

(平成24年度補正予算)

- 議案第8号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算(第6号)
議案第9号 平成24年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)
議案第10号 平成24年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
議案第11号 平成24年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(条例の制定)

- 議案第12号 小矢部市美術活動拠点施設整備基金条例の制定について
議案第13号 小矢部市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定について
議案第14号 小矢部市道路の構造の技術的基準に関する条例の制定について
議案第15号 小矢部市道路の案内標識等の寸法に関する条例の制定について
議案第16号 小矢部市移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例の制定について
議案第17号 小矢部市準用河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について
議案第18号 小矢部市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議案第19号 小矢部市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について

(条例の一部改正)

- 議案第20号 小矢部市行政組織条例の一部改正について
議案第21号 小矢部市個人情報保護条例の一部改正について
議案第22号 小矢部市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について
議案第23号 小矢部市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
議案第24号 小矢部市営住宅条例の一部改正について
議案第25号 小矢部市都市公園条例の一部改正について
議案第26号 小矢部市下水道条例の一部改正について
議案第27号 小矢部市消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正について

(その他)

- 議案第28号 市道の路線認定について
議案第29号 市道の路線変更について
議案第30号 市道の路線廃止について
議案第31号 富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
議案第32号 高岡地区広域圏事務組合規約の変更について

(追加議案・その他)

- 議案第33号 工事請負契約の締結について

(専決承認)

- 承認第1号 専決処分事項の承認について

専決第1号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)

代 表 質 問

創そうせい生かい会 多ただ田 勲いさお 議 員

◎小矢部の元氣・安全創造予算の執行について

【問】高齢化社会に加えて人口減少の局面に入った現実を見据え、何をフィードバックし、これからの50年の土台づくりは何を育てていくのか。

【答】先人から引き継ぎ、築き上げてきたものをフィードバックし再評価するとともに、ブラッシュアップをしていくために「小矢部ルネサンス」の取り組みを継承し、さらには次の世代にも引き継いでいくことこそが、これからの50年に向けてのまちづくりに対する理念である。

【問】行革と財政健全化、公債費指標の改善について伺う。

【答】今後も市民のご理解とご協力のもとで、さらに行財政改革を推し進めていくための不断の努力を行っていく。また、交付税措置の高いものを優先的に借り入れしており、実質公債費比率に与える影響は小さいと考えている。

◎5つめと体罰の早期対応にCSM

【問】いじめと体罰の早期対応と保護者の責任について。

【答】いじめは毎年度調査を実施す

るとともに、市教育センターが中心となり、学期ごとに小学校、中学校の対応を調査、指導を行っている。

【問】子供の規範意識を育てる最も適切な場所は家庭であり、忍耐、勤勉、儉約、挨拶、譲る心、全て家庭生活の中で保護者が手本となり、教え育ち、全ての人間形成の師である親の家庭のしつけの教育がそこから始まるのではないか。

【答】日ごろから子供の細かな変化に気づけるよう良好な親子関係をつくるのが、いじめの早期発見と解決につながるかと考えている。今後とも、保護者、地域及び関係機関との連携のもと、学校全体でいじめや体罰のない取り組み体制を確立していきたい。

◎シラバス、ビジョン・アワード・ハードワークについて

【問】児童生徒、特に保護者の皆さんに、学校の授業で今一体何のために何を教えているか、常にはつきりさせる習慣が必要でないか。

【答】学校だより、PTA総会や学年・学級懇談会を通じ、学校の教育方針や学習の全体的な様子を伝えている。個々の児童生徒には連絡帳や生活ノートで学習内容・進捗を随時保護者にお知らせしている。また、小学校では、「学年だより」などの配布物で学年の学習内

容をきめ細かくお知らせしている。中学校では、冊子やプリントにまとめて配布したり、入学説明会などを通して、保護者に理解していただくよう努めている。

◎小矢部消防署津沢出張所の改築予定について

【問】津沢出張所は広域化に伴い担当区域が広くなり、人員増となった。建屋は昭和52年に建てられ、老朽化もあり、消火力、機能充実を図るため、増改築が必要である。消防特別債を使うとすると、もう時間があまりない。具体的な予定を立てる時期でないか。

【答】施設整備については、砺波地域消防組合が実施することとなるが、津沢出張所が耐震化されていないことや、位置が砺波市、南砺市に近く、広域化により担当区域が大きくなったことから、消防機能を充実・強化させるため、広域消防運営計画に基づいて平成27年度に改築されることとなっている。

◎防火・防災対策について

【問】グループホームの防火体制整備に対する市補助金について伺う。

【答】現在、補助金の制度はあるが、長期低利の公的融資制度はない。日中の避難訓練はもとより夜間を想定した避難訓練の実施や、避難

経路、消防水利の確認などについて指導を行っている。

◎アウトレットモールの集客にCSM

【問】アウトレットモールは、市を挙げて誘致を成功させねばならない。道の駅メルヘンおやべ等を最大限にいかして、どう集客対応をとるのか。

【答】道の駅のさらなる魅力向上と機能を充実させ、大型商業施設との相乗効果を高めていくことが大切である。さらには、中心商店街や観光地への誘導を図り、市内の周遊性を高める取り組みも必要と考えている。

◎アートハウスの集客について

【問】アートハウスを美術活動の拠点になるように、利用者、参観者の利便性を極め、整備を求めたい。

【答】著名作家の特別展、アートディレクター方式による市内作家の自主企画展、特色ある創作教室などの開催、子供たちの施設体験の実施など、市民にとって魅力ある企画運営が重要となる。市民に開かれた施設、市民が主体に企画できる施設を目指して、今後しっかりとした運営計画を策定することが必要であると考えている。



代 表 質 問

政 友 石田 義弘 議員

◎地球温暖化に対する今後の 取り組み及び農業に与える 影響について

【問】地球温暖化に対する今後の取
り組みについて伺う。

【答】循環型社会の実現のため、家
庭用ゴミ、プラ製及び紙製容器包
装の分別に順次取り組んできた。
平成25年度では市内全域の蛍光
灯を使用する道路照明灯・防犯灯
のLED照明への更新を進めたい。
また、事業所用の太陽光発電シス
テム設置費の補助金制度を新たに
設ける。

【問】メルヘン米の品質向上に向け
た対策及び指導方針について伺う。

【答】上位等級比率の向上を目指す
ためには、土づくりが大きな要素
と考えており、平成25年度におい
てケイ酸質資材の施用を対象とす
る「メルヘン米土づくり支援事業補
助金」を交付する。これにより、天
候に左右されない土づくりを行い、
米の品質向上を図る。

【問】食味ランキングアップ対策に
関して、どのような指導、方策を
示していくのか伺う。

【答】土づくりをはじめ、肥培管理

の徹底や適切な水管理が重要であ
る。県高岡農林振興センターやい
なば農協と連携をとり、品質向上
に向け努力したい。

【問】農業特産品の今後の取り組み
について伺う。

【答】県内の各種イベントや東京、
名古屋への出向宣伝に加え、小矢
部市農業特産物推進協議会では、
農業特産物のインターネット販売
を開始して、販路拡大を図ってい
る。実証実験している大麦若葉や
エビス草などが特産品となるよう
に、しっかりと取り組みたい。

◎交流人口増対策について

【問】コンベンション補助金につい
て、どのようにPRをし、どのく
らいの活用を計画しているのか。

【答】市外からのコンベンション参
加者に対し、宿泊費用として1人
一泊千円を補助する経費を予算計
上した。年間千五百人の方を想定
している。小矢部市企業協会や小
矢部市体育協会などの関係団体を
通じ、県内外の各種団体に対し制
度の活用を促すとともに、市や県
のホームページ等で広く制度の周
知を図りたい。

【問】ネーミングライツ及び関係機
関との連携について伺う。

【答】平成20年度にクロスランドお
やべや小矢部陸上競技場などの体
育施設、計8施設の命名権の募
集をしたが、導入には至っていな
い。広報や販売方法などについて
は、さらに工夫を凝らすためにも、
小矢部市観光協会、小矢部市商工
会、小矢部市体育協会など関係機
関と協議をしながら進めることが
有効であると考えている。

【問】大河ドラマ誘致実現に向けて
の観光客受け入れ体制、PR活動
等の整備状況について伺う。

【答】観光客受入のため、小矢部市
観光協会による「おもてなし講座」
や「観光ボランティア養成講座」の
開催などに取り組んできた。さら
に、観光客の二次交通の便を図る
とともに、訪れた観光客がゆつく
りと楽しんで見学していただける
よう、古戦場一帯の史跡整備を進
めている。再度訪れたいくなる観光
地になるようソフト面とハード面
の整備を進め、受入体制の充実を
図っていく。

◎子育て支援について

問題でないことから、民間企業の
協力と理解が必要であると思うが、
市当局の考え方を伺う。

【答】子育てにおいては、幼児期の
親との関わり合いが最も大切であ
り、その時期の親子のふれあいは
子供の健全育成に大きく関わるも
のである。一方で、ライフスタイ
ルの多様化も進み、両親ともに就
労する家庭も増えてきていること
などから、今後とも様々な施策を
通じて支援していくことが行政の
重要な役割だと考えている。

【問】県では市町村と連携して多子
世帯の保育料の軽減率を拡大する
ことについて検討して、経済的負
担の軽減を図っていくとのことだ
が、本市も子育て支援に力を入れ
ていることから、多子世帯につい
て検討されたのか、また今後の対
応及び取り組みを伺う。

【答】本市の保育料負担は、県内
でも平均的なレベルにあります。が、
その中でも本市独自の取り組みと
して、第3子以降の3歳未満児を
早くから無料とする追加支援を
行っている。さらに子供を希望す
る夫婦の後押しになるような施策
についても検討したいと考えてい
る。

代 表 質 問

新風会 藤本 雅明 議員

◎平成25年度予算編成の基本方針について

【問】大河ドラマ誘致活動は今後どうされていくのか、そして何年度ドラマ化を目標とするのか。

【答】平成26年度末の北陸新幹線の金沢開業時にあわせて放映の実現に向けた誘致活動を推進している。義仲・巴広域連携推進会議において、署名運動の実施、また各地の義仲・巴ゆかりの史跡を紹介する広域マップを作成し、大河ドラマ放映実現に向け取り組んでゆく。

【問】平成24年9月に開催された「グルメランドinおやべ」には、2日間で6万人が来場されたが、経済効果はどれくらいあったのか、そして今年の予定はどうか。

【答】数字的に経済効果はつかないが、有形、無形の経済効果があったと認識している。今年の予定は平成25年10月ごろにクロスランドおやべを会場として、県内外のご当地グルメや伝統料理、さらには和洋スイーツの出店団体を募り、幅広い年齢層に提供したい。

【問】北陸新幹線開業に向けた誘客強化及び観光振興支援はどうか。

【答】首都圏や沿線都市において出向宣伝や広告宣伝を行い、知名度の向上に努めたい。併せて、首都圏からのモニターツアーを実施し、観光ニーズの把握に努め、各種祭りやイベント、観光資源のブラッシュアップにつなげ、具体的な旅行商品の造成を図っていきたい。

◎石動駅周辺整備計画について

【問】石動駅周辺整備計画パブリックコメント中間報告を経て、今後の進め方について伺う。

【答】パブリックコメントのご意見を参考に、平成25年度には石動駅周辺整備計画を策定したい。

【問】JR石動駅のバリアフリー化について伺う。

【答】JR西日本が施工されるもので、エレベータ2基を備え、幅員2mの跨線橋や駅舎スロープの改良、既存跨線橋手すりの2段化、ホーム点字用ブロックの改良、上り待合所の移設が計画され、平成25年度内の完成が予定されている。

【問】駅南広場等の工事が平成26年度末に工事が完了する。パブリックコメントによると整備の方向性は駅南改札口開設の要望が非常に多い。いつ頃開設予定なのか。

【答】石動駅の南側からの利用は、

北陸新幹線の開業には間に合わないが、石動駅を中心とした駅南地区と駅前、既成市街地との一体感を図るとともに、今後の石動駅周辺の活性化のための取り組みを推進したい。

◎行財政改革について

【問】平成24年度行政評価の取り組みは、平成25年度予算にどのような反映されたのか。

【答】今後の方向性として見直しが必要であると判定した70の事務事業は、平成25年度予算編成において見直しを行った。また、事業内容の改善と判定したものは、平成25年度に手法を見直すなどの指示を行ったところだ。

【問】平成24年度から庁内で公共施設のあり方検討委員会を開催しているが、どのような内容で進められているのか。

【答】機能が重複した公共施設の再編整備の基本的な方向性、今後の再編の進め方及び施設管理の効率化などについて検討し、類似公共施設、宿泊施設、民営化対象保育所の現状と方向性等について協議をしているところである。

【問】外部評価委員会からも公共施設について意見が出されているが、

どのような内容なのか。また、公共施設のあり方検討委員会、外部評価委員会の意見を取り入れ、今後どのように更新、再配置を進めていくのか。

【答】公共施設関連事業について、老朽化に伴う将来的な廃止、再編や民営化等を含めた公共施設の設置及び指定管理者制度のあり方についてその方針を明らかにするようにとの意見があった。今後は、外部評価委員会の意見を参考にしながら問題点、課題等を整理し、施設利用者などの関係者も参画していただき、具体的に協議検討を進めていきたい。

【問】平成22年度に定員管理計画を策定し、事務事業の整理、組織の合理化、民間委託等の推進により、大幅に職員数の削減に努めている。平成25年度は事務事業量が大幅に増えているが、事業の遅れや市民サービスの低下にならないよう適正な人員配置をしていただきたい。

【答】職員が担当業務だけでなく、様々な業務に対応できるように各種職員研修を実施し、資質向上に努めているところだ。今後も、適正な人事管理に努めていく。

一 般 質 問

◎質問者 白井 中 議員

【問】東日本大震災の復興財源を確保するための増税は、どのような仕組みなのか。

【答】復興特別所得税は、平成25年1月から平成49年12月までの25年間で、所得税に2.1%の税率を乗じた金額であり、個人住民税は平成26年6月から平成36年5月までの10年間、市民税及び県民税の均等割にそれぞれ500円加算され、五千円となる。

【問】公金をどのような基準で運用管理しているのか。

【答】金融機関は経営状況の健全性、収益性などの状況を分析した指標を公表しており、その情報を参考に半期ごとの自己資本比率、預金量の推移などを調査し健全性などを把握している。

【問】公金のルール及び仕組みについてはどうか。

【答】出来るだけ高い運用益が得られるように努めている。一方、一時的に支払いが不足する場合は、貸付金利の低いものを一時借入して、支払い利息を抑制している。

【問】アウトレットモールを含む大型商業施設の誘致の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。

【答】国道8号沿線の西中野、西福町などのエリアを計画地とし、現在、関係地権者等の事業協力同意をいただき、丈量測量、造成に係る基本設計業務を進めている。今後、地権者各位の土地譲渡の同意後、平成25年度中に用地を取得、造成事業に着手し、平成27年度中の完成工事を目途にしている。

また、開発事業者は本市の計画地に強い関心を示していただいており、誘致実現に向け、強力で働きかけていきたい。

【問】イノシシ等による有害鳥獣による農産物被害の実態についてはどうか。

【答】主にイノシシによる水稻被害であり、平成24年度の推定被害額が392万円となっている。平成24年度の被害面積は約3ヘクタールで、電気柵が設置されていない地域を中心に被害が増加している。

【問】イノシシ等の有害鳥獣を有益鳥獣として捕獲し、ジビエ料理等を普及する取り組みをしてはどうか。

【答】平成23年度のイノシシ捕獲数は9頭であり、絶対的な量が不足していると考えている。

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】少子化対策に対する行政の取り組みとして、保育料や幼稚園授業料の第3子以降を無料化してはどうか。

【答】第3子以降の保育料の完全無料化を図った場合、試算では一千四百五十万円の歳入の減額が見込まれる。財源見通しを踏まえ国による「子ども・子育て支援新制度」の実施が平成27年度から予定されており、その制度も見据えて保育料等の軽減措置等について検討したい。

【問】分娩等の医療施設の確保への行政支援について伺う。

【答】砺波医療圏内全体で産科医療体制を検討するため、産科等医療機関と行政機関で構成する連絡会が定期的に開催され、妊婦さんが安心して安全に妊娠、出産できる体制整備を図っている。

【問】少子化に加え高齢化が問題だ。健康で長生きしてもらうための施策はどうか。

【答】健康づくりと介護予防の施策を車の両輪のように一体化して提供できる事業を展開していきたい。現在は、医師や保健師等による疾病予防や運動、栄養改善等について

実践的指導を行っている。

【問】本市の60歳以上の人口は、ほとんど人口の半分である。いろいろな経験をしているシニアの活力を活かすべきではないか。

【答】第5期小矢部市高齢者保健福祉計画では、生きがいづくり、社会参加の機会や場づくりを基本施策と位置づけ、高齢になっても積極的に社会参加の継続が図られるよう就労の場の確保、あるいは生涯学習、生涯スポーツなど生涯現役を目指した取り組みを支援していく。

【問】道の駅開設に伴う町なかへの誘客について伺う。

【答】誘客数の把握は難しいことから、平成25年度から市内の商店街などが優待つきPRカードを配備する「ショッピングカード配布事業」を実施して、誘客の促進と誘客数の把握を考えている。

【問】道の駅の足湯やドッグランの有料化などの取り組みを考えてはどうか。

【答】県内の足湯の施設などを見ても無料のところが多々あり、非常に利用者が増えており、利便性や集客性を考慮すると、本市では無料を継続していきたい。



質 問

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】TPP参加反対を貫く事について、考え方が変わらないか。

【答】国益に反する聖域無き関税撤廃を前提にする限り、TPP交渉参加に反対の立場にあるとの思いであり、現段階においてもその考えは変わっていない。

【問】日米共同声明で安倍総理は、聖域を設けることができると言うたが、ごまかしだと思ふ。所見は。

【答】国会において議論されるところであり、現段階では所見を述べることは差し控えたい。

【問】アウトレットモールを含む大型商業施設誘致をめざす東部産業団地について伺う。開発業者が自分の資金で用地買収、造成するのならわかるが、市が借金して造成し、開発業者には貸し付けるだけだ。その費用の一部に国の交付金や地方交付税もあてにできるといふが、みんな国民の税金である。消費税増税で不景気になり、ものが売れずテナント撤退という事態になれば、孫の代まで大きな負担をかける。こんなことを本当に地方自治体として今やるべきなのか。

【答】商業施設の集積地となるよう開発して、地域経済の活性化や交流人口の拡大、そして、税

収などの自主財源の確保は、今日の自治体経営にとって大変重要である。福祉施策の充実を図るためにも、企業誘致の一環として、今回の事業をしつかり取り組んでいく。

【問】学校教育や部活動、スポーツなど、あらゆる分野において体罰は暴力であり、容認できないことを、きちんと徹底することが大切である。その際、桑田真澄著「野球を学問する」も参考になると思ふがどうか。

【答】教員一人一人が児童、生徒の人権を尊重する意識を高め、学校全体が意識を変えていく必要がある。地域に開かれた学校づくりを目指すことにより、体罰やいじめの軽減につながると考えている。

【問】いじめの背景には、過度に競争的な教育で子供達にストレスを感じさせているからではないか。

【答】子ども自身が学びの大切さ、楽しさ、喜びを体感することを通して、主体的な学びや学習意欲を向上させたい。

*その他、次の質問がありました。

「生活保護削減と市民への影響」

「公共建物の長寿命化」について

【答】被害面積は約3ヘクタールで、被害金額は392万円である。平成22年度から国の鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、平成24年度までに電気柵46・6キロメートルと捕獲用おり16基を整備した。被害面積と被害額は前年と比べ増えているが、電気柵を設置した距離が長い地区では被害が減少し、電気柵が設置さ

◎質問者 義浦 英昭 議員

【問】平成25年度予算にアートハウス建設を前提とした基金条例案が上程されたが、教育委員の方はどのような議論を交わし、どのような見解を持っているのか。

【答】美術作品の収蔵と常設展示を中心とした従来型の美術館ではなく、ローコストでかつ市民が主体的に参画できる施設については建設を「是」とした上で、職員の配置並びに年間の収支見通しと運営内容に関し議論した。学校教育だけでなく、高齢化社会の到来を見据えた上で、生涯学習の推進や文化芸術の振興などの面でも極めて重要であると

【問】平成24年のイノシシによる農作物の被害面積や被害額などの現状はどうか。

【答】被害面積は約3ヘクタールで、被害金額は392万円である。平成22年度から国の鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、平成24年度までに電気柵46・6キロメートルと捕獲用おり16基を整備した。被害面積と被害額は前年と比べ増えているが、電気柵を設置した距離が長い地区では被害が減少し、電気柵が設置さ

【問】「星に近い牧場 稲葉メルヘン牛」を生産している稲葉山牧野の経営方針・収支状況と今後の進め方について伺う。

【答】平成22年度から計画的に行っていた放牧場の拡大、牛舎の増設工事が平成24年度に完了し、今後の安定的な出荷頭数の確保と肉質の向上が可能になった。年間和牛を80頭として経営の安定化を図っていききたい。

【問】「人・農地プラン」について伺う。

【答】今後の農業者の方々、5年先、10年先の地域農業や営農の状況を思い描いていただくことが必要である。

れていない地区を中心に被害が増加しているのが現状である。

【問】イノシシの頭数は減っていないので、本市だけでなく隣接市との連携が必要になってくるのではないか。

【答】平成25年2月に呉西地区6市による第一回目の鳥獣被害防止対策連絡会議が開催された。今後も被害情報や電気柵の設置状況、イノシシの捕獲状況等の情報を共有して、広域的な対策を図っていくこととしている。

【問】「星に近い牧場 稲葉メルヘン牛」を生産している稲葉山牧野の経営方針・収支状況と今後の進め方について伺う。

【答】平成22年度から計画的に行っていた放牧場の拡大、牛舎の増設工事が平成24年度に完了し、今後の安定的な出荷頭数の確保と肉質の向上が可能になった。年間和牛を80頭として経営の安定化を図っていききたい。

【問】「人・農地プラン」について伺う。

【答】今後の農業者の方々、5年先、10年先の地域農業や営農の状況を思い描いていただくことが必要である。



■ 会務報告

平成24年12月22日から平成25年3月3日まで

年月日	件名	摘要	開催地
24. 12. 26	高岡地区広域圏事務組合12月定例会	・ 議案審議 平成24年度高岡地区広域圏事務組合一般会計補正予算(案)及び分担金の補正について	高岡市
25. 1. 24	全員協議会	・ 富山県並行在来線対策協議会の報告について等6件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・ 議会だよりNO.168について	第二委員会室
1. 30	防災・環境対策特別委員会	・ 所管事務調査	第二委員会室
1. 31	民生文教常任委員会	・ 施設調査 高岡市環境クリーン工場 ・ 所管事務調査	高岡市 第二委員会室
2. 1	総務常任委員会	・ 研修「富山県の防災対策について」	第二委員会室
2. 4	砺波地方介護保険組合議会議会運営委員会	・ 協議事項 平成25年2月定例会の運営について	砺波市
2. 8	産業建設常任委員会	・ 小矢部市畦畔緑化研究事業の中間報告について等6件報告	第二委員会室
2. 12	砺波地方衛生施設組合議会2月定例会	・ 議案審議 平成25年度一般会計予算(案)及び平成25年度分担金(案)について等	高岡市
	砺波地域消防組合議会議会運営委員会	・ 協議事項 平成25年2月定例会の運営について	砺波市
2. 14	まちづくり特別委員会	・ 石動駅周辺整備計画(素案)に対するパブリックコメントの取りまとめについて(中間報告)報告	第二委員会室
2. 25	全員協議会	・ 平成24年度道路除雪の実施状況について等2件報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・ 協議事項 平成25年3月定例会提出議案等について	第二委員会室
2. 26	砺波地域消防組合議会2月定例会	・ 議案審議 平成25年度一般会計予算(案)及び平成25年度構成市の分担金の額(案)について等	砺波市
2. 27	砺波地方介護保険組合議会2月定例会	・ 議案審議 平成25年度一般会計予算(案)及び介護保険事業特別会計予算(案)について等	砺波市

市議会では、市民の皆様への傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

傍聴のお知らせ

平成24年度 議長交際費支出状況

平成24年4月～平成25年3月分 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	27	448,440
① 御祝・寸志	16	263,440
② 餞 別	7	145,000
③ 香典・供物	4	40,000
2 協 賛 費	30	136,400
3 会費・懇談会費	29	282,625
4 そ の 他	32	311,345
合 計	118	1,178,810
平成24年度予算額		1,400,000
執行率		84.20%

6月定例会の日程

太字はCATV・インターネット録画配信の放送予定

7日(金)10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

10日(月) 議案調査日

11日(火) 議案調査日

12日(水) 議案調査日

13日(木) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

14日(金)10時 本会議(一般質問)

17日(月)10時 防災・環境対策特別委員会

14時 民生文教常任委員会

18日(火)10時 まちづくり特別委員会

14時 産業建設常任委員会

19日(水)10時 総務常任委員会

20日(木)14時 委員長会議

21日(金)10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

予算特別委員会

一点目は、平成二十四年度補正予算並びに二十五年度予算執行にあたっては、適正な職員配置と適確な実施に努めること。

二点目は、医療、福祉、教育、環境、就労などの人口増対策の横断的連携を図り、老若男女、国籍を問わず定住人口の増加に努めること。

三点目は、社会・環境変化に伴う子供達の生活実態や成長過程をしっかりと把握し、健全育成に努めること。

四点目は、高齢者対策として、ワーク・ライフ・バランスを図り、健康増進と生きがい対策に努めること。

五点目は、国民健康保険税が市民に負担感を与えていると思われることから、その軽減に努力すること。

六点目は、震災がれき焼却灰受け入れについては、市民の安全確保と理解が最優先であり、関係地域住民はもとより市民全体を対象にした説明会を開催し慎重に対応すること。

七点目は、市内観光資源や小矢部ブランド認定品を活用し、交流人口の増加を図ること。

八点目は、「義仲・巴」プロジェクト活動プランを早期に策定し、大河ドラマ化誘致等に全市を挙げて取り組むこと。

九点目は、上水道における逸水・漏水、下水道における不明水によるムダな支出を減らす取組を強化し、また、接続率アップに向けた対策を講ずること。

十点目は、上水道及び下水道の未整備地区の住民を対象とした意向調査を実施し、計画の変更の是非を検討すること。また、調査結果を基に市内全域の水洗化の目標年次を早め、散居村でのより効率的な手法を検討すること。

十一点目は、石動駅周辺整備計画を早急に進め、駅南広場、駐車場の完成、並行在来線開業に合せて、石動駅南からの乗降ができるよう事業の進捗を図ること。

十二点目は、アウトレットモールを含む東部産業団地造成事業については、土地開発公社への委託を予定しているが、国の通達を厳格に捉え、後世の市民に過大な負担を与えないよう慎重に検討すること。

十三点目は、防災対策の充実を図り、安心・安全な小矢部市づくりを積極的に取り組むこと。

総務常任委員会

一点目は、津沢管内の防災拠点である小矢部消防署津沢出張所については、今後の砺波地域消防組合の動向を見据え、早

急に、小矢部市として必要とする消防署の建設位置を、地域住民の意向も踏まえて検討すること。さらに、車両配備等規模も含めたその設置を砺波地域消防組合へ示すこと。

二点目は、安全安心な市民生活を守るため、速やかに望むべき自治体との災害時応援協定を結ぶこと。また、災害時に必要とされる救援を想定し、各種の民間事業者との災害時応援協定に取り組むこと。

三点目は、防災士について、地域での自主防災組織に求められる活動につながるよう、市独自の研修による育成など組織体制を整備し、市報等で市民への活動を広く紹介し、防災への自助・共助に結びつくよう活かしていくこと。

産業建設常任委員会

一点目は、小矢部市移動等円滑化のために必要な道路の構造及び特定公園施設の設置の基準に関する条例が付託されたが、既存施設の設置状況を確実に把握され、条列水準に達しない施設については、計画的に施設の改修・修繕を図り、バリアフリー化に向けた取り組みを積極的に実施すること。

二点目は、小矢部市バイオマス活用推進計画に基づき、林産資源を利用した暖房設備を公共施設に導入・設置するなど、エネルギーの地産地消が成り立つ仕組みづくりを検討すること。

三点目は、国の大型補正予算

民生文教常任委員会

や平成二十五年度予算にかかわる工事は、円滑に進捗するよう計画的な発注に努めるとともに、地元業者の育成・支援にも配慮することにより、地域経済の活性化、雇用の維持・確保に十分に努めること。

一点目は、震災がれき焼却灰の受け入れについては、当局では前向きに検討しているが、市民の健康、安心、安全を最優先に考え、住民の理解を前提にして慎重に取り組むこと。

二点目は、平成二十五年から松沢保育所、荒川保育所の調理業務が民間委託となった。平成二十四年に比べると約四十パーセントの経費削減となると報告されたが、児童の安全で安心できる給食の確保に努めること。

なお、食材購入については、引き続き地産地消に努め、調理方法などについては、委託先の業者と綿密な協議を重ね、積極的に指導していくこと。

三点目は、中国からの飛来が問題となっている微小粒子物質「PM2.5」については、富山県から国の基準値を上回るものが予想された場合の対応の指針が三月十二日に出された。本市でも「PM2.5」が基準値を上回ることが予想された場合は、市民、児童、生徒の安全を第一に、速やかに正確な情報を伝える適切な連絡体制を整えること。

編集後記

平成24年度は、小矢部市制施行50周年の節目の年として「小矢部ルネサンス」のテーマのもと、さまざまな記念行事が展開されました。多くの市民の皆さんの参加によって、「市民の絆」が深まり、郷土への誇りと愛着を体感する絶好の機会となりました。

市議会といたしても、この輝きを持続し、充実した市民生活、ゆとりと潤いのある地域社会の理想郷の実現に向け、市民の意思を的確に市政に反映させるよう、その使命を着実に果たしていかねなければいけないと、再認識しているところです。今後とも市民の皆さんのご協力とご支援をよろしくお願いたします。

次回の「議会だより」は、平成25年8月の予定です。
(議会だより編集委員一同)